

3-4

むかし
しらべよう わたしたちの市の昔



ごう やわた ほうめん
国道14号線ぞいから八幡小学校方面のようす
しょうわ
(昭和30年ごろ・70年くらい前)



国道14号線ぞいから八幡小学校方面のようす
れいわ
(令和7年) *協力：(株)市川ビル



70年～80年前



50年くらい前

資料提供：市川写真家協会 山下茂穂氏撮影



今のようす

つかむ

^{えき}
市川駅のまわりのようすは、どのようにかわってきたのでしょうか。

(1) かわってきた市川市

^{しゃしん}
たぐやさんたちは、市川駅の古い写真を見くらべて、気づいたことを話し合いました。



^{むかし} ^{もの}
昔は高いたて物がなかったんだね。

^{ふく}
車や歩いている人の服もうも、今のようすとはだいぶちがうね。^{きもの}着物を着ている人も写っているよ。



駅だけでなく、市川市全体のようすも、今と昔では大きくかわってきているんじゃないかな。

もっとまわりのようすも見てみたいな。



^{しら}
地図を使って、当時のようすをもっとよく調べてみることにしました。



ちず
10ページの地図とくらべてみましょう。

昭和7年・90年くらい前のようす（国土地理院）

※  は、水田を表す昔の地図記号です。



駅の南がわや市の北の方には、水田が広がっていたんだね。今では見かけないね。

今のようにたくさんの方が住むようになったのは、何かきっかけがあったのかな。



わたしたちのくらす市川市は、いつごろ、どのようにかわってきたのだろう。

よそう・けいかく

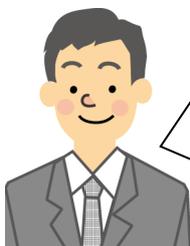
教科書を参考にして、計画をたてましょう。

どのようなことを調べればよいか、意見を出し合ってみましょう。

しらべよう・みてみよう

りょう 土地利用のうつりかわり

できごとについては、下の二次元コードから市川市のうつりかわり年表を見て、くわしく調べてみましょう。



この学習では、
 ①新しくできたもの
 ②ふえてきたもの
 ③へってきたもの
 ④なくなってしまったもの
 の4つのことに注目して
 調べてみましょう。

水田	住たく地や工場
林	川や池など
果樹園	干がた
畑	海
空き地	



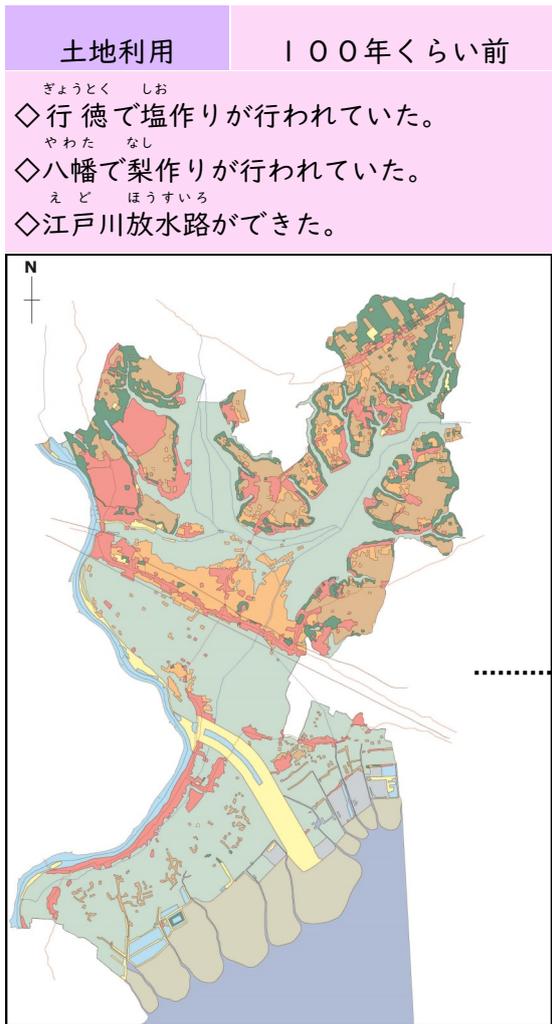
ばらき えんてん
 原木にあった塩田のようす

(大正5年)

100年くらい前まで、行徳のあたりには、このような塩を作るための塩田が広がっていました。



今では塩田を見かけないわ。どのようにようすがかわったのかな。



たいしょう いん
 大正8年のようす (国土地理院)

つか
 土地の使われ方は、どのようにかわってきたのか調べてみました。

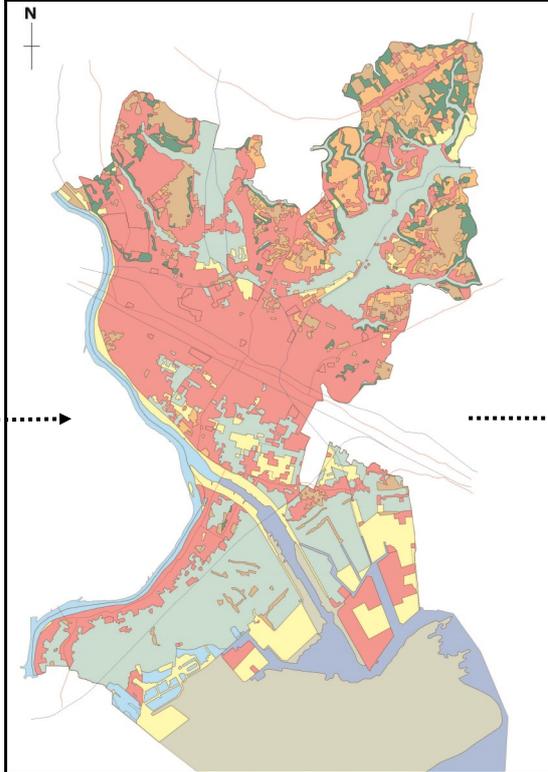
北の方には、果樹園が広がっているね。

南の方には、水田や干がたが広がっていたんだね。



80年前～50年前

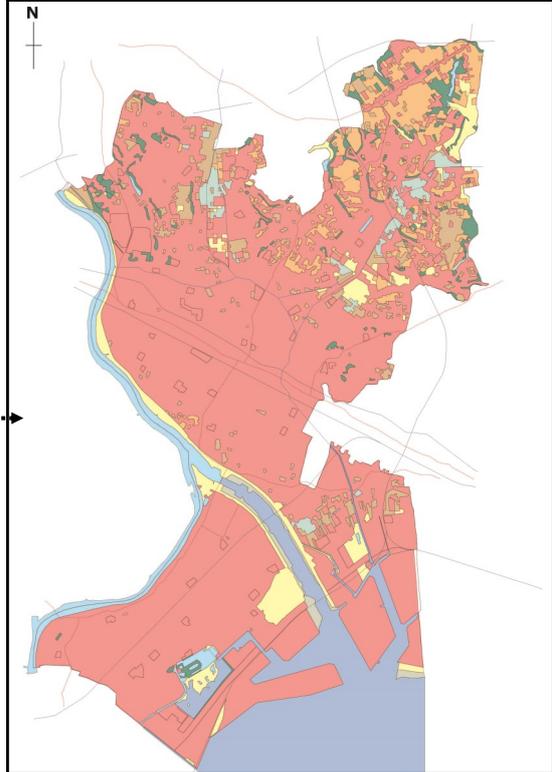
- ◇行徳海岸のうめ立て工事が行われた。
かいがん こうじ
- ◇たくさんの工場がたてられた。
- ◇梨づくりが大野や大町にうつった。



しょうわ 昭和44年のようす (国土地理院)

50年前～20年前

- ◇たくさんのマンションがたてられた。
かん こうきょう
- ◇学校や図書館などの公共しせつが多くたてられた。



へいせい 平成11年のようす (国土地理院)



果樹園や水田だった場所が、
住たくにかわっていったんだね。
ばしょ

うめ立てられた土地には、た
くさんの工場がたてられたことを前
に学習したね。



土地の使われ方は、どうし
てこんなに大きくかわって
いったのかな。



ふたまた こうや ひがしはま
二俣新町・高谷新町・東浜のようす
(昭和40年代)

行徳海岸のうめ立て工事によっ
てつくられた新しい土地です。

どうろ てつどう
道路や鉄道のうつりかわり

道路や鉄道ができたこと
で、市川市に住む人々の生活はどのようにかわってきたのか調べてみました。



市川駅は、100年
くらい前からあるんだね。

ほかの駅は、いつごろ
できたのかな。



49~50ページの地図と見くらべながら、生活がどのようにかわってきたかを考えてみましょう。

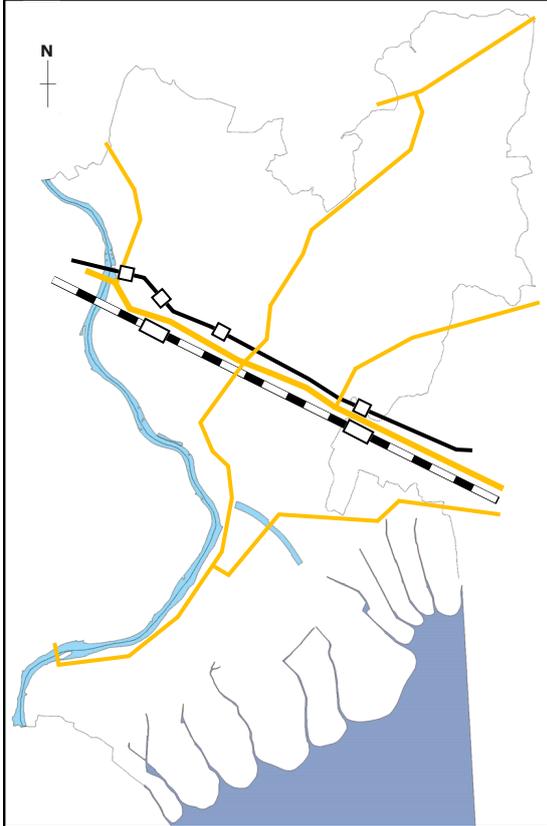


【絵はがき】江戸川をわたる京成電車
(大正10年~15年ごろ)

鉄道や道路

100年くらい前

- ◇市川駅えきができた。
- ◇京成電鉄けいせいでんてつが、市内に駅をつくり、利用しやすくなった。



大正8年のようす (国土地理院)



だんだんと、南から北の
方に道路や鉄道がのびて
いったんだね。

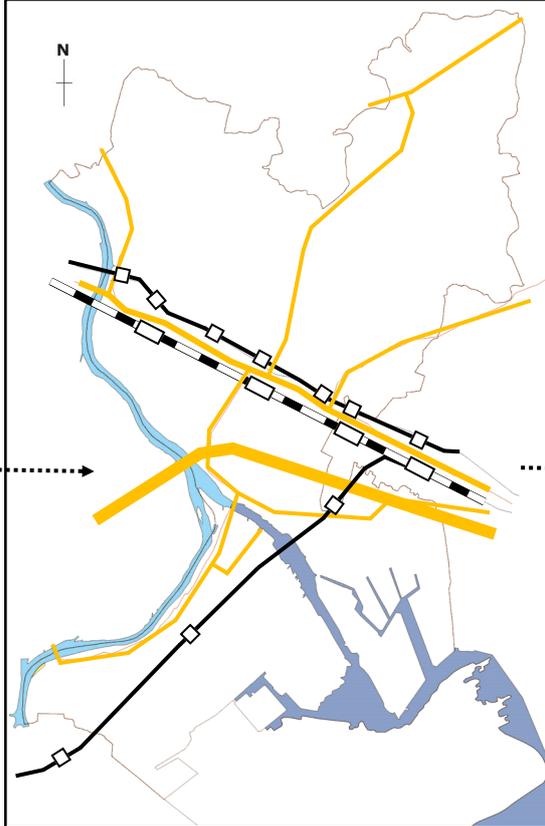
鉄道や道路ができたこと
と、土地つかの使われ方がかわっ
てきたことは、何か関係かんけいがあ
るんじゃないかな。



地いきの方に当時のようすをうかがいました。

80年前～50年前

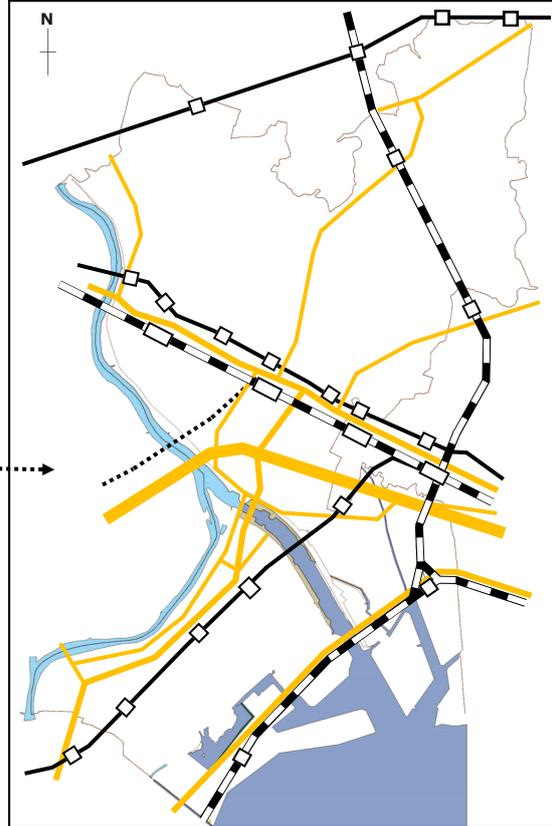
- ◇本八幡駅もとやわたができた
- ◇東西線かいつうが開通し、行徳駅ぎょうとくができた。
- ◇京葉道路けいようができた。



しょうわ
昭和44年のようす (国土地理院)

50年前～20年前

- ◇武蔵野線・京葉線むさしのが開通した。
- ◇北総線・都営新宿線ほくそうが開通した。
- ◇妙典駅みょうてんができた。(平成12年)



へいせい
平成11年のようす (国土地理院)

昔から市川に住む人の話

鉄道や道路が整備せいびされると、水田すゐでんや畑はたけに利用りようしていた場所には、マンションや工場がたてられるようになりました。

駅もふえて、いろいろとべんりになりましたが、まちのようすは、大きくかわってしまいました。



こうじ
昭和40年代の行徳駅近くの東西線工事のようす
(写真提供:地下鉄博物館)

人口のうつりかわり

市川市の人口は、いつごろ、

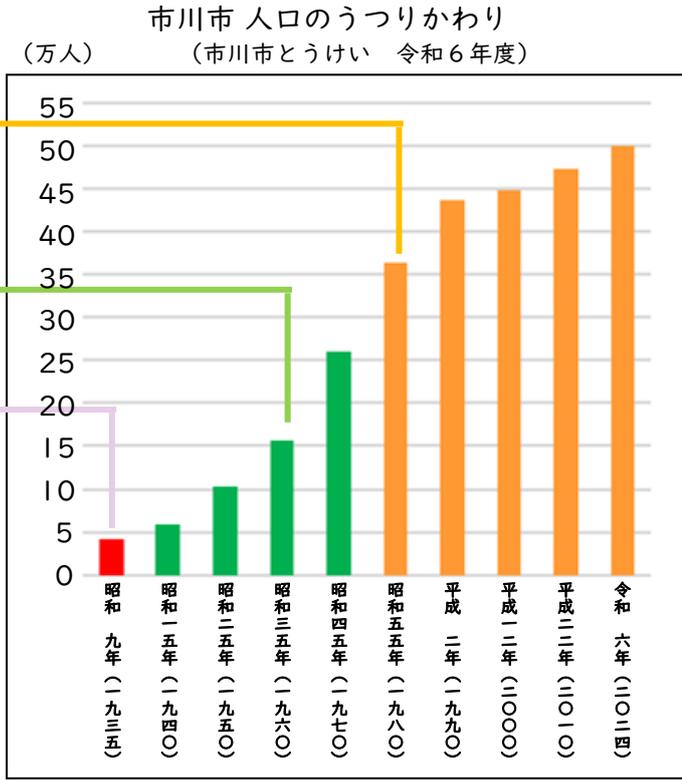
しら

どのようにふえてきたのか調べてみました。

ぎょうとくかいがん
◇行徳海岸のうめたて工事が終わ
り、今のような市の形になった。

おおがしわ
◇大柏村や行徳町，南行徳町が
いっしょになった。

やわた
◇市川町・八幡町・中山町・国分
村がいっしょになって市川市がで
きた。



市川市は、ちがう町や村がいっしょになってできたなんてしらなかったな。



どうしてこんなにたくさんの方が市川市に住むようになったのかな。

てつどう どうろ 鉄道や道路ができた時期
じき や、住たく地がふえた時期
じき と、人口がふえた時期は、
かさなっているね。



やくしょ
市役所の人の話 市川市は、市川町・八幡町・中山町・国分村がいっしょになつて、昭和9年にたん生しました。当時の人口は、およそ4万人ほどでしたが、その後、大柏村や行徳町などがいっしょになったことや、都内への通勤がしやすくなったこともあり、今ではおよそ49万人もの人が住んでいます。



こうきょう
公共しせつのうつりかわり

学校や図書館など、みんな
が使うためのしせつのことを
公共しせつといいます。

たくやさんたちは、公共し
せつが、いつごろできたのか
調べてみました。

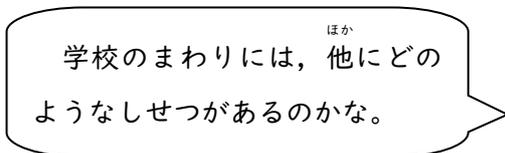


昔の市川小学校
(昭和3年ころ・100年くらい前)

公立小学校数のうつりかわり	
100年くらい前	8校
50年くらい前	20校
20年くらい前	39校



たくさんの方が住むようになって、学校もふえていったんだね。



学校のまわりには、他にどの
ようなしせつがあるのかな。



公共しせつは、どのように
してたてられているのかな。

おもな公共しせつができたころ	
市川市スポーツセンター	昭和25年
れきはくぶつかん 歴史博物館	昭和57年
しぜん 少年自然の家	昭和57年
自然博物館	平成元年
メディアパーク市川	平成6年
クリーンセンター	平成6年

ちゅうおうとしょかん

中央図書館の人の話



メディアパーク市川は、平成6年にたてられました。図書館や
こども館などのしせつが入った建物で、子どもからお年よりの方まで、はば
広い世代の方に利用していただきやすいしせつとなっています。このよう
な公共しせつは、市民のみなさんからの税金を使ってたてられています。

まとめよう・つたえよう

59~60ページを参考に、市のようす
のうつりかわりについて、調べたこ
とをまとめてみましょう。